



2026 年 8 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社ギフトホールディングス
代表者名 代表取締役社長 田川 翔
(コード：9279、東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役管理本部長 末廣 紀彦
(TEL. 03-5990-4650)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年6月15日に公表いたしました2026年10月期の連結業績予想を修正いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026 年 10 月期 通期連結業績予想の修正(2025 年 11 月 1 日～2026 年 10 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 43,900	百万円 4,800	百万円 4,770	百万円 2,880	円 143.66
今回修正予想 (B)	43,900	5,000	4,970	3,020	150.65
増減額 (B－A)	－	200	200	140	
増減率 (%)	－	4.2	4.2	4.9	
(ご参考) 前期実績 (2025 年 10 月期)	35,878	3,367	3,374	2,185	109.34

2. 業績予想修正の理由

当社グループは 2026 年 10 月期においては、店舗 QSCA の継続的な向上及び営業時間の延長に取り組んだことにより、2026 年 7 月までの累計での国内直営店の既存店売上高は、前年同期比（改装店除く）103.0%と順調に推移しました。また、上半期に引き続き第 3 四半期においても、食材の調達方法の

最適化や製造効率の向上により食材コストを低減させることができおり、売上高総利益率は前年同期から大きく改善する見込みです。

以上を踏まえ、2026年10月期第3四半期に計画対比で上回って推移した分を2026年6月15日発表の2026年10月期通期連結業績予想に上乘せする形で修正することといたしました。

なお、第4四半期の想定に関しては従来予想を据え置いており、本施策の影響を含め、見通しを改めて精査しております。通期業績について修正の必要があると判断した場合、第3四半期決算以降改めて開示する予定です。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績等は、今後様々な要因により上記予想と異なる場合がございます。

以 上